

平成 30 年度 ふたば保育園の自己評価

ふたば保育園 園長 加藤智雄

評価 A よくできている B ほぼできている C 努力が必要

1.保育理念・保育観

保育目標 ころもからだもたくましい子
生き生きとしてやる気のある子
感性豊かでころもやさしい子

- a. 職員一人ひとりが、ふたば保育園の保育理念・保育方針・保育目標を理解している。 (A)
- b. ふたば保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている。 (A)
- c. 保育士一人ひとりが自己評価を行い、その問題解決のために向上心をもって取り組んでいる。 (A)
- d. 子ども一人ひとりの心に寄り添い、個性を伸ばす保育を大切にしている。 (A)
- e. 保護者の子育てを支える努力をし、子育ての喜びに共感している。 (A)

2.保育計画・指導計画

- a. 保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程になっている。 (A)
- b. 保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味・関心を把握して、年間計画、月案、週案を立てている。 (A)
- c. 3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持って一人ひとりに応じた保育計画を立てている。 (A)
- d. 幼児の保育にあたっては、子どもの自主性、主体性を重んじ、子どもたちの発想を大切にする保育実践に努めている。 (A)
- e. 配慮が必要な子には、その子に応じた計画を立てている。 (A)

3.食育

- a. 食育の重要性を理解し、季節や年齢にあわせて食育計画を立てている。 (A)
- b. 園長・栄養士・保育士が連携し、毎月、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている。 (A)
- c. できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。 (A)
- d. 給食やおやつは手作りに努めている。 (A)
- e. 食物アレルギー児の対応には家庭と密接な連絡をはかると共に、除去食が安全に対象児に届けられ、安全に提供できるようにしている。 (A)

4.職員構成・分割分担・研修

- a. 職員の仕事や分割が明確であり、連携をとって円滑な園運営ができています。 (A)
- b. 危機管理意識を持ち、緊急時に対応ができる体制ができています。(マニュアル・危機管理委員会・ヒアリハット報告・不審者対策) (A)
- c. 職員が各委員会に所属し、保育や内容を深めるためにそれぞれが活動しています。 (A)
- d. 園内研修は園内公開保育・絵画研修を軸に保育の質の向上に努めています。 (A)
- e. 施設設備については環境委員会を中心に安全確認と共に子どもの発達を促進する室内・園庭環境を工夫しています。 (A)

5. 保護者支援

- a. 一人ひとりの保護者と園児の様子の情報交換を通して良好な関係を作る努力をしている。 (A)
- b. 園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。(クラスだより等) (A)
- c. 園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。 (A)
- d. 子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。 (A)
- e. 個々の子どもの発達を保護者に伝えるために、情報の ICT 化を図っている。 (A)

6.子育て支援

- a. 地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。 (A)
- b. 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。 (A)
- c. 子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。 (B)

7.地域社会との連携

- a. 高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を大切にすることを育てている。 (A)
- b. 地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れると共に、園での子どもの様子を伝えている。 (A)
- c. 中高生の保育体験を積極的に受け入れている。 (A)